

令和3年11月22日

第30回 「芳賀・宇都宮基幹公共交通検討委員会（書面開催）」結果概要

- 期 間 令和3年11月1日（月）～11月10日（水）
○形 式 書面
○内 容 1 設置要綱の一部改正について
2 報 告
(1) 「LRT整備効果検討部会」の設置について
(2) LRTの整備により期待される効果の項目について

【主な発言の要旨】

1 設置要綱の一部改正について・・・資料1

- ・ 委員等からの意見は特になく，内容について了承

2 報 告

(1) 「LRT整備効果検討部会」の設置について・・・資料2

【望月委員】

- ・ 駅東側は期待される効果のうち貨幣換算できる項目の検討はすでに終了しているため、ステップ①の検討が駅西側と異なる、また駅東側の検討が先行しステップ②、③の成果を駅西側の検討に反映させることを考えると、別紙2の検討手順は駅東側と駅西側で別々に示し両者の関連も追記すると部会の検討内容が明瞭になると考える。

【事務局】

- ・ 整備効果の検討については、駅東側の検討内容を駅西側の検討に適宜反映させていくことから、駅東側と駅西側で検討手順をそれぞれ作成し、関連性が分かるようにお示ししていきたいと考えている。

(2) LRTの整備により期待される効果の項目について・・・資料3

【森本委員】

- ・ 評価項目と国際的な指標との対応関係を明確にしておくと思う。例えば、SDGsの17のグローバル指標等との関係などを整理すると良いと思う。

【事務局】

- ・ LRTの整備効果については、効果項目の検討に併せ、SDGs等との関連性などについても整理をしていきたいと考えている。

【岸井委員】

- ・ 効果の項目として、特に高齢者の交通行動に着目したものがあってもよいように思われる。

【事務局】

- ・ 「外出機会の増加」などの項目を把握する中で、アンケートを活用するなど、高齢者の行動の変化を把握していきたいと考えている。

【望月委員】

- ・ 整備効果については、幅広く検討しなるべく定量的にその効果を示していただきたい。
- ・ また、効果を貨幣換算することについても積極的に取り組んでいただきたい。

【事務局】

- ・ L R Tの整備効果については、可能な限り定量的に効果を評価し、お示ししていきたいと考えている。
- ・ また、その効果を貨幣換算することについては、その手法等も含め検討していく。

【大森委員】

- ・ 多様な効果項目について、「L R Tの整備」のみが原因となる部分を切り取って評価することは困難だと思われるので、「L R Tの整備」以外の外部環境の変化についても別途整理しておくことが望ましいと考える。

【事務局】

- ・ L R Tの整備効果については、様々なまちづくりの施策や沿線の開発などと併せて発現する効果もあることから、「L R Tの整備」以外の外部環境の変化についても把握していきたいと考えている。

【行政アドバイザー】

- ・ L R Tの整備により、交通弱者、特に既存のバスの利用が難しい車イス利用者やベビーカーユーザー等の移動の心理的ハードルが下がることも、大きな整備メリットだと考える。（更にベビーカーユーザーにおいては、まちの子育てのしやすさにも直結する。） 整備効果をよりこまやかに測るために、それらの方々に特化したような項目を抽出することを提案する。

【事務局】

- ・ 「外出機会の増加」などの項目を把握する中で、アンケートを活用するなど、車いす利用者やベビーカーユーザー等の行動の変化を把握していきたいと考えている。

【行政アドバイザー】

- ・ L R Tによる新たな景観創出も効果の一つになるのでは。

【事務局】

- ・ 効果項目として、景観に関する項目を追加していきたいと考えている。

【各委員，了承】

以上